

# GPAIサミット2022について

---

2022年12月21日

総務省 国際戦略局

## 会合概要

- GPAIサミット：人間中心の考え方に立ち、「責任あるAI」の開発・利用を実現するため設立された**国際的な官民連携組織である「Global Partnership on Artificial Intelligence(GPAI)」の年次総会**。今回3回目の年次総会として2022年11月から議長国を務める我が国で開催したもの。
- 日時：2022年11月21日（月）～22日（火）（2日間）
- 場所：ホテル椿山荘東京
- 参加者：GPAIメンバー各国政府代表団（24カ国+EU）、GPAI専門家、国内AI関係者等から、約300人が現地参加（+約300名がオンライン参加）。各国政府からはシャンパーニュ大臣（カナダ）、ドゥフ大臣（スロベニア）の閣僚級や、フランス、インド、ブラジル、シンガポール、チェコ等から担当大臣・副大臣級が参加（一部、オンライン参加）。

## 主要イベント

11月21日（月）		11月22日（火）	
10:00-10:30	オープニング	10:00-12:30	閣僚理事会
13:00-15:00	専門家等総会（MEGプレナリー）	12:30-	（写真撮影）
15:00-16:30	執行委員会	15:30-17:00	運営委員会
17:30-18:30	閣僚対話	その他、並行してGPAI専門家による4つのWGの パブリックセッションや、須藤座長を始めとするGPAI専門家や 日本のAI関係者による21のサイドイベントセッションが開催	
18:30-	閣僚ディナー		

## オープニング（11/21）

- オープニングセッションでは、議長国となる日本政府を代表して、**総務省から柘植副大臣、経産省から長峯政務官がスピーチ**を行うとともに、前議長国フランス・次期議長国インドからそれぞれ担当大臣がオンライン（リアルタイム）でスピーチを実施。
- 柘植総務副大臣のスピーチでは、今日の社会における「責任あるAI」原則の重要性やGPAIの発足へのカナダ、フランスの尽力への謝意、我が国のAIによる社会課題解決への抱負等について述べた。



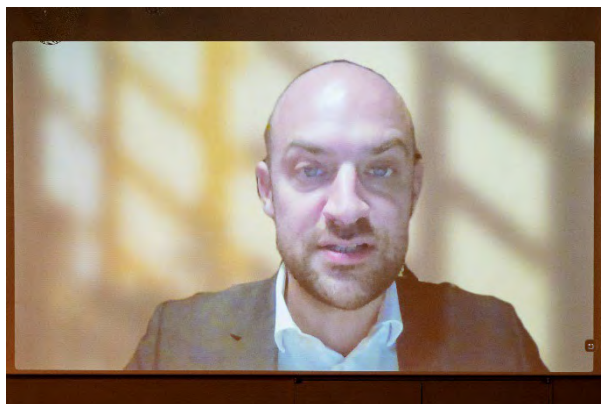
オープニング



柘植総務副大臣



長峯経産政務官



バロー デジタル変革・通信大臣（仏）



チャンドラセカール電子情報技術担当大臣（印）

## 閣僚理事会（11/22）

- 閣僚理事会では、国光総務大臣政務官が議長を務め、**議長国となる日本のイニシアチブによりGPAIサミットでは初となる閣僚宣言が採択**。人間中心の価値に基づくAIの利用促進、AIの違法かつ無責任な使用への反対、持続可能で強靱かつ平和な社会への貢献等について各国で合意。
- また、GPAI専門家が作成した「MEGLレポート」の報告の他、**今後のGPAIにおける優先テーマ（priorities）**が承認された。特に優先テーマでは、「気候変動」「健康と生命科学（パンデミック対策含む）」「人権に対するAIの影響」という既存の3テーマに加え、**日本から提案した「レジリエントな社会に向けたAIの活用」が4つ目のテーマとして盛り込まれた**。
- その他、閣僚理事会の決定事項として、ToRの改訂、2023年ワークプラン、2023年予算、**新規加盟国等が承認された**。GPAIの新規加盟国として**アルゼンチン、セネガル、セルビア、トルコ**の4カ国の加盟が承認され、GPAIのメンバーは以下29の国等となった（下線は創設メンバー）。

日本、アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、チェコ、デンマーク、フランス、ドイツ、インド、アイルランド、イスラエル、イタリア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ポーランド、韓国、セネガル、セルビア、シンガポール、スロベニア、スペイン、スウェーデン、トルコ、英国、米国、EU



閣僚理事会



閣僚理事会で議長を務める国光政務官



集合写真

- 人間中心の価値に基づき、尊厳と幸福を守り、信頼できる、責任ある、持続可能な人工知能の利用を促進するOECD AI原則へのコミットメントを再確認。
- 包括的で開発志向の持続可能で平和な社会を支える人間中心の価値と民主主義を保護し、促進することへのコミットメントを確認。
- 我々の共有する価値観にそぐわない人工知能及びその他の技術の違法かつ無責任な使用に反対。
- 新たな加盟国であるアルゼンチン、セネガル、セルビア、トルコを歓迎。
- 加盟国政府と専門家間の対話を強化し、プロジェクト資金及びGPAIの持続可能性のための財務メカニズムへの道を開くことを目的としたGPAIの規約改訂を歓迎。
- マルチステークホルダー専門家グループ（MEG）参加者の貢献及び作業部会が作業計画プロジェクト及びMEG年次報告書を提供するための関与を歓迎。現在進行中のAIのトレンドやGPAIで検討すべきトピックについて、GPAI専門家による提言に留意。
- GPAIのマルチステークホルダー・アプローチと、科学、産業、市民社会、労働組合を含む官民の関係者が、我々の共通の目標を前進させるAIソリューションに取り組む際の協力強化を促進することへのコミットメントを再確認。
- 政府とAIマルチステークホルダーコミュニティとの間のより大きな連携を促進するために、加盟国がMEG専門家と緊密に協力することを奨励。
- GPAIが共有する価値を保護し、促進するため、GPAIが他の関連する国際的なフォーラムにさらに関与することを支持。
- インドが次期議長に選出されたことを歓迎。リードチェアである日本がGPAIの優先事項の下、AIの実装と市民のエンパワーメントを通じたレジリエントな社会を推進する意思を支持。

## サイドイベント（11/21,22）

- 国内外のAI関係者によるサイドイベントを多数開催（計21セッション）。**専門家同士の交流や国際的なAI議論の情報発信**を推進。後日、GPAI公式YouTubeにアーカイブとして掲載予定。



NICT主催AI翻訳サイドイベント



須藤修中央大学教授  
主催サイドイベント



CEIMIA主催サイドイベント

## その他（11/21,22）

- その他、数カ国（スロヴェニア、ブラジル、チェコ、シンガポール）の閣僚級等によるパネルセッションを開催した他、11/21夜には閣僚ディナーを開催。日本の分身ロボット/アバター「OriHime」を紹介し、実際に遠隔で操作する障がいを持つ方々との交流等を実施した。



GPAI主催 閣僚級対話



閣僚ディナー



閣僚ディナー（分身ロボットOriHimeデモ）

## GPAI専門家サイドイベント一覧

セッション番号	タイトル	主催者
GPAI 1	GPAI Future of Work Side Event: Challenges and Issues for Diverse Societies and Work Styles: Co-creation of AI/Avatar and Human	Institute for Future Initiatives, The University of Tokyo
GPAI 2	GPAI Future of Work Side Event: Student Community Gathering	Institute for Future Initiatives, The University of Tokyo
GPAI 3	AI for extreme weather in a changing climate	Florence Rabier (ECMWF)
GPAI 4	The Enhanced Drug Discovery Ecosystem: Leveraging AI, International Partnerships, and Innovative Funding Structures	Yoshua Bengio
GPAI 5	From Theory to Practice - Driving the implementation of AI for climate action	Nicolas Mialhe
GPAI 6	Standards Schemas as a key tool to operationalize AI regulatory compliance	Ashley Casovan (Responsible AI Institute), Marc-Etienne Ouimette (AWS), Lama Saouma (CEIMIA)
GPAI 7	Unlocking Data's Potential: Improving Pandemic Resilience via Privacy-Enhancing Technologies (PET)	Michael O'Sullivan
GPAI 8	AI4SME Portal Adoption Rollout Discussion and Demonstration	Innovation and Commercialisation WG - Laurence Liew & Françoise Soulié
GPAI 9	Diversity and Gender Equality in AI: Pathways to Address Systemic Changes	Paola Ricaurte
GPAI 10	Can AI be rights-preserving, ethical and still unjust?	Alison Gillwald, GPAI, Data Justice co-lead, University of Cape Town/ Research ICT Africa
GPAI 11	Global AI Governance: Towards Interoperability and Harmonization	Lama Saouma, GPAI's Montreal Center of Expertise (CEIMIA)
GPAI 12	AI Governance and the Important Role of Multi-stakeholders	Osamu Sudo

## 日本国内関係者サイドイベント一覧

セッション番号	タイトル	主催者
JAPAN 1	Informational Health and AI	Fujio Toriumi, Professor, University of Tokyo Tatsuhiko Yamamoto, Professor, Keio University
JAPAN 2	The landscape of AI ethics and law in Japan	Furukawa, Naohiro
JAPAN 3	AI for disaster risk reduction to realize a resilient society: Current situation and issues in Japan	Fujitsu Limited
JAPAN 4	The ways to trustworthy AI in practice	Fujitsu Limited
JAPAN 5	Social Value Creations with Tech	Minister of Economy, Trade and Industry, Japan World Economic Forum Centre for the Fourth Industrial Revolution Japan
JAPAN 6	Outlook on AI governance in Japan, Singapore, and the UK	Minister of Economy, Trade and Industry, Japan World Economic Forum Centre for the Fourth Industrial Revolution Japan
JAPAN 7	Women in AI Lunch	Minister of Economy, Trade and Industry, Japan World Economic Forum Centre for the Fourth Industrial Revolution Japan
JAPAN 8	Approach to Social Inclusion, Responsible AI and Startups	Japan Deep Learning Association
JAPAN 9	The Current Status and Outlook of Machine Translation and Contributions to the Inclusiveness of AI by Eliminating the "Language Barriers"	NICT (National Institute of information and Communication Technology)